

Green Age vol.75

2020.9月号
1面…音楽部定期演奏会 / 美術・書道・写真展 / 体育祭
2面…Sclio / 学びのヒント
3面…部活動の活躍
4面…かけはし / 行事予定

鹿児島高校新聞・グリーンエイジ / 第75号

【編集・発行】学校法人 津曲学園 鹿児島高等学校 企画広報部 / 〒890-0042 鹿児島市薬師1丁目21-9 / TEL.099-255-3211 / FAX.099-258-0080

かけはし

9月号

9月12日(土)に体育祭が行われました。今年は新型コロナウイルスの影響で例年通り行えない競技もありましたが無事、開催することが出来ました。

今回は感染症対策のため様々な制限がある中で体育祭でしたが、ひとまず実施できたことに安心しました。そして、運営をすべてしてくださった先生方に感謝しています。来年はどうかかわかりませんが、例年通り実施できることを願っています。

体育部副部長 西久保祐希 (3F8 城西中)

今回は、いつも通りの体育祭にはなりませんが、先生方をはじめたくさんの方の協力もあり、感染症対策を行いながらも実施することが出来てよかったです。来年は、例年通り楽しい体育祭が開催できることを願っています。

体育部部长 佐々木愛子 (3J2 武中)



三弧会としては初めての体育祭で天候も悪くなり短縮されたのも初めてでしたが、部長を中心として準備から片付けまで終えることが出来ました。行事を運営し何カ月前から準備しなければならぬ大変さを三弧会活動を通して知ることが出来ました。

体育部副部長 内村光之進 (2F2 育英館中)

今年度の体育祭は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、制限の多いものになりました。しかし、全校生徒が一致団結して学校全体を盛り上げることができ、仲間との絆が深まったと思います。今回の体育祭で培った団結力や行動力をこれからの学校生活に活かしてください。ご協力ありがとうございました。

三弧会会長 洞 高真 (3F8 吉野中)

新型コロナウイルスの影響で例年通りの体育祭を行うことができませんでしたが、先生方のおかげでとても楽しい体育祭になったので感謝しています。私たち3年生は最後の体育祭でしたが、開催することが出来てよかったです。

体育部副部長 丸山千代香 (3J4 串木野中)

10月の行事予定

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	
普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	普英選抜科目調査入力締切	

ホームページでカラーバージョンのGreenAgeを公開中! <http://www.kagoshima-h.ed.jp/magazine.php>

focus the KAKO

第40回音楽部定期演奏会

8月29日(土)、音楽部の第40回定期演奏会が宝山ホールで開催されました。今年は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、部員の保護者と学校関係者のみの入場となりましたが、音楽部の伸びやかな歌声に、会場は割れんばかりの拍手に包まれました。

今年の合唱劇は、宮沢賢治作「めとこ山の熊」。工夫を凝らした小道具と、部員の美しい歌声が相まって、宮沢賢治の世界観を見事に表現していました。

部長の大夫真瑚さん(3F2 城西中)が今年も新型コロナウイルスにより、たくさんの方が制限された歌うことさえ許されないような時もあったが、それでも私たちは笑って前を向いていた。こうして定期演奏会を開催できたことを心から感謝している。と挨拶をしました。

今後の音楽部の活躍にもご期待ください。



focus the KAKO

第53回美術・書道・写真展

9月15日(火)〜9月22日(火)の期間で、第53回美術・書道・写真展が鹿児島市立美術館で行われました。この日のために準備していた絵画や風景写真、書などの作品約100点が



並び、どれをとっても素晴らしいものばかりでした。毎年行われる部展は、校外で部員の日々の作品が並ぶ唯一の機会です。ぜひ来年も、足を運んでいただければと思います。

focus the KAKO

第62回体育祭開催!

9月12日(土)、第62回体育祭が開催されました。当初は天気予報でも雨マークが並び、早朝は雨が降り続いていましたが、みなさんの日頃の頑張りを見てくれたのか、競技が始まる頃には雨もやみ、晴れ間がのぞく瞬間もありました。

様々な競技が繰り広げられました。3年生はNiziUの「Make you happy」の歌にのせて話題の「縄跳びダンス」を交えながら可愛らしいオリジナルダンスを披露しました。

三弧会体育部部長の佐々木愛子さん(3J2 武中)の放送での選手宣誓を皮切りに、雨に負けない力強い和太鼓演奏が披露され、閉会宣言で幕を下ろしました。

出身中別リレーでは、出水連合チームが優勝、学級対抗リレーでは、2F3が優勝。結果505対515の僅差で赤組が勝利を収め、三弧会会長 洞高真さん(3F8 吉野中)の閉会宣言で幕を下ろしました。



グリーンエイジ Green Age ~可能性の世代~

greenとは、「未熟な、まだ完全でない」ことを示し、「これからの可能性に満ち溢れている」ということを表す言葉です。そんなgreenな若者たちを、「グリーンエイジ」と呼びます。また、greenには「環境にやさしく、目にやさしい」とも言われており、「やさしさ」をイメージしています。「夢いっぱいの子供たち」にマッチした、この「GreenAge」をよろしく願います。



Scio(スキオー)の意味

知るを意味するラテン語.science(科学)の語源にあたるscientia(知識)は、Scioの派生語とされています。

就職・進学の選抜はじまる ～学習の「実り」を考える～

コロナ禍の中、普段より短い夏休みが終了し、やはり、普段と少し違う体育祭、鹿高祭もあわただしく終了した。1・2年生は大きな行事が終了し、やや虚脱感を感じる時期となる。しかし、これからの受験生となる現1・2年生にとって、2学期こそが最も重要な時期であり、まさしく「実り」の学期となる。一方、3年生はいよいよ就職試験、入学試験本番に突入する。全受験生には夏の努力の成果を十分に発揮してもらい、見事、合格を手に入れることを祈念している。本年度、就職を希望する3年生は10月16日より就職試験が開始される。新型コロナの影響で世界規模の経済停滞の中、各企業の求人は減少し、近年、好調といわれた高校生の就職戦線も厳しさを増すことが指摘されている。高校生の就職試験は公務員を除き、基本的には学校長の推薦を伴う。3年間、学業と部活、検定取得に熱心に取り組む、さらに、3年時には夏休みを返上しての学習指導や面接指導、マナー指導を受け、最終的に校内選考を経て、就職試験受験を迎える。こうして、就職試験を受ける者は内面と外面を共に磨きあげて、社会への扉をたくわっているのである。また、大学・専門学校への進学を希望する者は、早ければ7月から既に選考が始まっている。総合型選抜試験では、実際の出願手続き(9月以降)の前に、エントリーシートを各大学に提出する。11月以降に出願する学校推薦型選抜でも様々な指定される書類を提出しなければならぬ。一般的に総合型のエントリーや学校推薦型の出願には、志望理由書や活動報告書、学習(修)計画書、さらには課題レポートを提出しなければならない。志望理由書作成を前に、多くの受験生には「自分は何がしたいのか?」「何故、自分は大学に行くのか?」という問いを改めて自ら

部活動の活躍

男子ソフトテニス部

- 鹿児島県知事杯 高校生ソフトテニス選手権大会
8月23日
優勝 岩元桐生(2J2 吉野中)・大久保悠汰(2F5 日当山中)
2位 亀井駿平(2F3 日当山中)・坂口仁(2J5 吉野中)
3位 内匠源太(2F5 垂水中央中)・中島清貴(2F7 垂水中央中)
8位 井手上煌(1F7 鶴荘学園)・池水千紘(1E2 帖佐中)

陸上競技部

- 8月23日
ゴールディングランプリ東京2020
【女子走幅跳】
全国6位 竹元咲(3J1 高尾野中)

女子バスケットボール部

- 8月29日、30日
南さつま市長杯
優勝
優秀選手賞 今村真歩(3F5 串木野中)

水泳部

鹿児島県高等学校 新人水泳競技大会

- 8月27日
【総合得意】
優勝 女子
3位 男子
【女子4000mメドレーリレー】
1位 山下愛紗(2F8 吾平中)
2位 飯屋透子(2EE2 鹿大附属中)
3位 黒木梨々夏(2F4 南中)
【女子1000m平泳ぎ】
1位 飯屋透子(2EE2 鹿大附属中)
2位 北園祐希(2J1 南指宿中)
3位 北園祐希(2J1 南指宿中)
【女子500m平泳ぎ】
1位 飯屋透子(2EE2 鹿大附属中)
2位 北園祐希(2J1 南指宿中)
【女子500m自由形】
1位 山下愛紗(2F8 吾平中)
2位 西堀夏生(1F3 鹿大附属中)
【男子500m平泳ぎ】
1位 加塩佑海(1EE1 国分南中)
2位 西堀夏生(1F3 鹿大附属中)
【女子4000mフリーリレー】
2位 片岡ミミ(1F4 鴨池中中)
1位 森夢生(1F6 川内南中)
福迫結円(2EE1 吉野中)
吉川真帆(2EE2 皇徳寺中)
【女子1000m自由形】
2位 片岡ミミ(1F4 鴨池中中)
【男子500m自由形】
2位 南谷輝人(2F8 吉野東中)

に突きつけられる。活動報告書や学習(修)計画書はその問いをさらに深遠なものとする。同時に、最大の手引きともなる。自身の経験を振り返り、自らの興味・関心を言葉とし、社会貢献の手立てとして昇華してゆく。レポート作成も同様である。レポートは作文と違い、書き手が自身の主張を先行研究やデータを引用しながら、読み手に対して明確に伝えなければならない。重要なものは「自分の主張は何か?」である。参考とする書籍はその手助けに過ぎず、単に書籍(作者)の主張を転用したものはレポートではない。参考文献にみられる「他人事」の知見をいかに「自分事」にできるかである。

進学希望者にはこれらの書類選考を経て(合格できれば)、本番の試験が待っている。面接やプレゼンテーション(試験官の前での口頭説明)、口頭試問、学科試験や小論文試験、集団討論、グループディスカッションなど多彩な試験が行われる。総合型選抜では、特に2・3度にわたり異なる試験を複数回行い、受験者の資質・能力を見極める。今年は特にリモートでの試験実施を導入する大学もあり、受験生は受験予定大学の情報収集にも最後まで気が抜けない。ペーパーテストであれば、文章の読解と解答の記述に集中・専念できるが、口語コミュニケーションでは、解

積にも視覚・聴覚を駆使し、解答にも表現・態度にも細心の注意を払わなければならない。高校生からみれば、大きく年の離れた異世代の試験官や、他県出身の高校生との直接のコミュニケーションが課される。こうした準備と試験を経て、受験生は選抜結果を知ることとなる。総合型選抜で11月以降、学校推薦型選抜では12月以降に合否発表がなされる。合格が年内に決定するからといって、その後が楽なわけではなく、多くの大学で合格者を対象に「入学前課題」が課される。大学生にとって日常的な学習であるレポート作成をはじめ、TOEFL・TOEICなどの英語学習、合格発表後から入学を迎えるまで、高等教育で必要なスキルを修得しなければならない。

総合型選抜や学校推薦型選抜で前提となっているのは「学びたい事の明確さ」である。無論、一般選抜も同様のことが求められるが、特に総合型・学科推薦型選抜において、大学は学びたいことが明確な学生を求めている。「何を学びたいのか?」「なぜ学ぶのか?」「先述の志望理由書の問いこそが学ぶこと、受験すること、合格すること、進学すること、すべてのスタートであり、またゴールともなる。これらの問いは受験によって生まれるのではなく、日々の学習のものから生まれる。特に1・2年生の学習にはその契機となるものが多い。冒頭の「実り」とは、まさにそのような問いの契機となるのではないか。1・2年生には是非とも「実り」を生み出すことを、そして、3年生受験生にはその「実り」を見事に収穫することを期待している。

【進学指導室主任】西村浩一

学びのイベント

笑顔を維持する強さ

地歴公民科・山下博子

私が鹿児島高校に赴任してもうすぐ半年になります。卒業生として帰ってきて最初に感じたのは、とにかく鹿児島高校の生徒は明るくて元気だということ。笑顔の生徒が多いことに感動すら覚えました。先日、ユニセフが先進国の5歳〜14歳の子どもたちの幸福度ランキングを発表しました。日本は38か国中総合で20位だったそうです。さまざまな項目の中で、日本は「身体的健康」つまり死亡率や過体重、肥満などの割合は他国の子どもたちよりも低く、第1位。しかし「精神的幸福度」つまり生活満足度はワースト2位とのことでした。体の栄養は足りているが、心は満足していない状態ではないということですか。

みなさんはどうですか。心は満ち足りていますか。私は大学で国際法を学びました。あまり真面目な学生ではなかった私ですが、世界には明日の暮らしか命の危険に怯えながら生きている人々がたくさんいること、そして日本に生まれた自分は、かなり恵まれているのだということを感じました。また一方で、世界はとても複雑で、善か悪か、白か黒かで割り切れないことがたくさんあることも学びました。言葉や文化、宗教、価値観：何もかもが違う人々の集まりが世界です。世界の人々とうまく付き合っていくには、自分の生まれ育った文化とは違う、異なる文化や価値観を持つ人々を尊重し、認めることが求められます。しかし、それは簡単なことではありません。受け入れるには自分の価値観がすべてではないこと、つまり価値観の相対化多くのうちのひとつとらえることが必要です。

たくさんさんの「価値のものさし」を知ることが、他者を受け入れ、許す寛容さへとつながります。自分とは違うけれど、それはそれとして認めて受け止める。自分の論理にまかせて他者の考えを間違っていると切り捨てることは単純明快ですが、それはあまりにも単純すぎます。複雑で歯がゆくて、投げ出してしまいたくなるけれども、ぐっぐっこらえて複雑さを抱えつつ、妥協点を探っていく。辛抱強く向き合い、相手の立場を理解しようとする。これは世界と日本という大きな関係だけではなく、身近な人との関係においても、間違いなく大切なことだと思います。

あるでしょう。しかし、それらを複雑に抱えながらも、心を支配されることがなく、毎日仲間と笑い合える強さをみなさんは持っています。その強さは近い将来、経験するであろう社会の理不尽や葛藤を乗り越える大きな力になります。幸せな日本で生まれた私たちにも、日々の悩みはありますが、それらを大きく抱え込んで、いつも笑顔でいたい。心の余裕を持ちたいと、自分に言い聞かせる日々です。

第13回南日本ジュニア美術展

- 入選 永長陽向(1J3 長田中)
後藤悠汰(1J1 伊敷中)
福留歩実(1F5 鴨池中)
前園明日実(2ET1 伊敷中)
久保奈名美(3ET1 武中)
【弦楽器部門】
金賞 バスカル風空(2ET1 山川中)ヴァイオリン

その他の活動

第44回鹿児島県高等学校音楽コンクール

- 8月19日
【金管楽器部門】
銀賞 吉見若葉(2F4 松元中)ユーフォニアム
銅賞 二宮綾美(3EE2 長田中)ユーフォニアム
【木管楽器部門】
金賞 橋本凌(2J5 明和中)アルトサクソフォン
銅賞 橋木叶和(1F6 武岡中)クラリネット
【ピアノ】
銀賞 平原芽衣(1EE2 川内南中)
銅賞 宮内美月(3EE2 桜丘中)
【声楽】
金賞 長濱美羽(2J2 西紫原中)
銀賞 當房加奈子(2F9 城西中)

全九州高等学校音楽コンクールに鹿児島県代表として推薦されました。

第51回鹿児島県高校書道展

- 8月
高文連賞 鮫島里奈(2F4 谷山北中)
川添美波(2F7 鷹巣中)
秀作賞 園田実央(1EE2 坂元中)
宮之原紀香(2F1 城西中)
松山光希(2F2 桜丘中)
優良賞 平田幸陽子(2ET1 志布志中)
西浦未華(2EE1 鹿大附属中)
大脇由芽菜(2F2 天保山中)
川崎晴菜(2F9 松元中)
小山田健太郎(2J3 皇徳寺中)

第21回高校生国際美術展(書の部)

- 佳作 田崎ひより(3F2 和田中)
宮之原紀香(2F1 城西中)
川崎晴菜(2F9 松元中)

美術部

- 8月/9月
第38回南日本女流美術展
入選 久保奈名美(3ET1 武中)
園田このみ(3J4 鴨池中)

